

保健・医療提供体制確保計画について①

【想定する最大値】

- ・1日当たりの最大新規陽性者数

2,338人

(実績：2,169人)

- ・最大療養者数

22,815人

(実績：21,166人)

- ・最大要入院者数

1,850人

(実績：1,354人)

- ・最大必要病床数

2,176床

(実績：1,904床)

- ・最大自宅療養者数

19,703人

(実績：17,399人)

※調整中の人数を含む



保健・医療提供体制確保計画について②

保健体制確保計画

新

各種想定数/フェーズ	フェーズⅠ（現状の体制）	フェーズⅡ（強化開始）	フェーズⅢ（ピーク時）
自宅療養者数（※1）	-	2,100	19,703
保健所体制	派遣看護師：77人 派遣事務職員：28人	派遣看護師：103人 派遣事務職員：90人	派遣看護師：129人 派遣事務職員：120人
強化開始の目安	-	人口10万人当たりの 1週間の陽性者数が 15人	人口10万人当たりの 1週間の陽性者数が 100人

※1 フェーズ強化開始の目安に達してから2週間後に想定される人数のこと

⇒ **全ての陽性者に陽性判明時から遅くとも翌日までにファーストタッチが行える体制を確保**

健康観察・診療体制の強化

○ リスク・症状に応じた健康観察の実施

- ↑
リスク・症状
- 高
- 保健所（最大：1,290人分）
 - 協力医療機関（最大：1,800人分）
⇒調整窓口を活用し、患者の振り分けを実施
- 低
- 宿泊・自宅療養者支援センター（2社）
（最大：18,000人分）

治療体制の強化

○ 多様な治療窓口の確保

- 24時間体制でのオンライン診療・往診・治療体制を構築
- 中和抗体薬について、外来・往診対応が可能な医療機関の拡充（66医療機関※11月30日時点）
- 配薬対応の県内薬局をリスト化し、新たな経口薬も含めた治療薬の処方を実施

保健・医療提供体制確保計画について③

病床確保計画

見直し

病床数/フェーズ	フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	フェーズⅣ	感染者急増時
全体病床数	500	900	1,300	1,700	2,176 (1,904)
重症	50	90	130	170	240 (236)
その他	450	810	1,170	1,530	1,936 (1,668)

※ () 内は第5波における最大確保数

※ 各フェーズの病床使用率50%以上で移行要請、30%以上でメディカル・アラート

- 不足分 (272床) の確保策
 - ・公立公的病院等の更なる病床確保 (142床分)
 - ・医療機能を強化した宿泊療養施設 (130床分)
- 受け入れ条件を書面で締結 (例：フェーズを切り替える期間)
- 病床使用率の向上策
 - ・軽症病床への下り搬送調整

宿泊療養施設確保計画

受入室数合計	522	1,045	1,450	1,986	2,523
移行要件	-	宿泊療養者 150人以上	宿泊療養者 300人以上	宿泊療養者 450人以上	病床確保計画 に準ずる

※ 受入室数には中和抗体薬投与のための臨時医療施設分 (8室) を含む

- 2,523室の確保を目指す
- 目標稼働率：5割

入院待機施設確保計画

新

定員数合計	60
移行要件	病床確保計画 に準ずる

- 感染者急増時に酸素ステーション開設
- 最大4施設60床分を確保

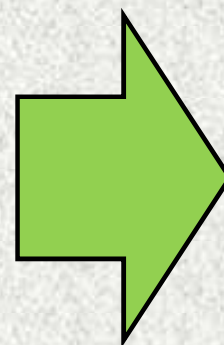
埼玉県における新たなレベル分類の考え方

I. ステージ指標の廃止とレベル分類への変更

- ワクチン接種率が75%を超え、治療薬の登場等により**患者像が変化**
⇒ **医療のひっ迫度をより重視した新たな指標としてレベル分類**が分科会から示された
- 都道府県によって感染状況と医療ひっ迫の関連性は異なる
⇒ **各都道府県で各地域の感染状況と医療ひっ迫の状況を評価する目安を示す必要性がある**

II. 考え方のポイント

- ① **医療ひっ迫状況を重視**
- ② **地域の感染状況をよりきめ細かくモニタリング**
- ③ **予測ツールの活用**
- ④ **レベル移行は上記指標を参考に**総合的に判断****



**各レベルに必要な対策
を機動的に実施※**

※必要な対策の内容は、各指標に加えて変異株等の状況等を踏まえ総合的に判断

埼玉県における新たなレベル分類の考え方(整理表)

レベルごとの状況	レベル移行の目安	レベルごとの対策(※1)	病床確保計画(※2)
0 新規陽性者数ゼロを維持	—	—	フェーズ1: 全体病床数 500床 うち重症病床数 50床
1 一般医療が確保され、 新型コロナに対し医療が 対応可能	—	【県民への要請】 ・ 警戒区域アラート、注意報	フェーズ2: 全体病床数 900床 うち重症病床数 90床
2 一般医療及び新型コロナ への医療の負荷が生じ はじめていますが、段階的 に対応する病床数を増 やすことで、医療が必要 な人への対応可能	【レベル2への移行目安】 ○以下の指標を参考に総合的に判断 ・ 確保病床(フェーズ4)の使用率20%以上 (医療圏ごと) ・ 人口10万人あたりの新規陽性者数が 15人以上(保健所ごと) ・ 新規陽性者数が増加傾向(保健所ごと) ・ PCR陽性率5%以上(全県)	【県民への要請】 ・ まん延防止等重点措置 ・ 感染拡大傾向時の無料検査 【保健・医療提供体制】 ・ 保健所の体制強化開始	フェーズ3: 全体病床数 1,300床 うち重症病床数 130床 フェーズ4: 全体病床数 1,700床 うち重症病床数 170床
3 一般医療を相当程度制 限しなければ、新型コロ ナへの医療の対応ができ ず、医療が必要な人への 対応ができない	【レベル3への移行目安】 ○以下の指標を参考に総合的に判断 ・ 3週間後の必要病床数が確保病床数に到達 した場合(予測ツールを活用) ・ 病床使用率又は重症病床使用率が50%を超 えた場合	【県民への要請】 ・ 緊急事態宣言 【保健・医療提供体制】 ・ 酸素ステーション開設 ・ 入院基準の変更(6点以上)	感染者急増時: 全体病床数 2,176床 うち重症病床数 240床
4 一般医療を大きく制限し ても、新型コロナへの医 療に対応できない	・ 感染者急増時における病床数でも対応できな い場合	—	

※1 必要な対策の内容は、各指標に加えて変異株等の状況等を踏まえ総合的に判断

※2 各フェーズの病床使用率50%以上で移行要請、30%以上でメディカル・アラート